

市長と語るまちづくり座談会を開催

—教育や食育、地産地消などをテーマに意見交換—

市民協働のまちづくりを推進するため、昨年11月26日から12月22日の間、市内4か所で市長と語るまちづくり座談会を開催しました。

従来の市政懇談会から方法を変更し、各地域でまちづくり活動に取り組んでいる9、10人の市民の皆さんと、事前アンケートで関心の高かった身近な話題について意見交換を行いました。参加者は、出席者38人、傍聴者109人、合計147人でした。

意見交換の内容を抜粋してお知らせします。



各会場のテーマ

【三原会場】

- ・青少年が健やかに育つ教育づくり
- ・食育と地産地消の推進

【本郷会場】

- ・青少年が健やかに育つ教育づくり
- ・高齢者が安心して暮らせるまちに

【久井会場】

- ・食育と地産地消の推進
- ・高齢者が安心して暮らせるまちに

【大和会場】

- ・子どもが健やかに育つ環境づくり
- ・食育の推進と農業振興

・学校給食おすすりレシピ集をきっかけに、子どもとの会話が広がった。このような取り組みをもっと進めてほしい。
・学校給食で市内の食材を使ったメニューをもっと取り入れてほしい。
・食育について、広報誌などでシリーズとして取り組んでほしい。
・タコのまちとしてPRしているが、旗や看板はあるものの、食べる所が少ないし宣伝が弱いと思う。



▲子どもと保護者が一緒に料理をするキッズチャレンジ事業では、地元産の食材を取り入れたメニューも取り入れています。今後は、離乳食教室などで地産地消のPRを検討していきます。

・地域で自分から積極的にあいさつをしている。そのことで大人も子どももコミュニケーションが取れる。
・登下校の時間帯に犬の散歩をしたり、庭の花の水やりをしたりするなど、まちの中に大人の姿があることが子どもを犯罪から守り、子育てを支援することにつながると思う。
・学校教育では、幼稚園・小学校・中学校の連携が大切だと考える。
・市が主催する離乳食教室などで地産地消をPRすると、各家庭に取り入れられていくと思う。

三原会場

本郷会場

・放課後児童クラブは、希望する人が利用できるように整備されているか。



▲現在、21か所の放課後児童クラブを設置しています。今年4月からは、新たに南方放課後児童クラブを開設します。

・少子化が進行し、子どものことを町全体、市全体で考えていかなければならない。子どもの育成について大変不安に感じている。
 ・教育委員会では、早寝・早起き・朝ごはんなどの基本的な生活習慣に関する取り組みを行なっているが、それ以外に三原独自の取り組みがあれば教えてほしい。



▲独自の取り組みとして、「知・徳・体」の3つの柱を掲げ、スピーチコンテストや読書活動、小学6年生の陸上記録会などを行っています。

・全国的に企業などを退職した元気な人がたくさんいるが、こういう人の活用をどう考えているか。

・自分自身がどうするかという自助と、隣近所で助け合う互助、行政などによる公助がそれぞれに重要だと考える。

久井会場

・単に長生きするのではなく、健康で長生きすることが大切。高齢者が健康づくりにまい進できるように体制・支援をお願いしたい。また、若いときからスポーツなどの健康づくりに取り組む体制を整えてほしい。



▲各種の講習会や講座を通じて、高齢者の健康づくりをサポートする体制を整えてほしい。

・子どもが学校から持って帰る給食の献立表の裏の給食だよりに、毎月、地元食材を使ったレシピが載っている。これを見ると、地場産物を使うという意識を持つことができる。また、図書館に行くと、郷土料理のレシピ集を借りることができる。こうしたことをもっと多くの市民に知ってもらいたいの取り組みをしてほしい。
 ・地産地消を進める上で生産者にとつ

て難しいことは、必要なものを必要だけ生産すること。無駄がないように作ることが難しい。例えば、学校給食は事前に献立を決めて、生産者がそれに合わせて生産できるように体制がでないか。

・民生委員も高齢化している。民生委員を補助するようなボランティアを置いている事例を聞いたことがある。三原でもそういう取り組みができないか。

大和会場

・先日、自分で作ったキャベツをJAの産直市へ出荷したら、すぐに売れた。うれしかったし、生きがいにもつながる。法人や大規模農家への支援だけでなく、個人の野菜づくりを促進する制度も考えてほしい。



▲やさ農業塾や、やさ作り講習会などで、個人向けに実践的な栽培実習や講義を行っています。

・保護者と子ども、学校、地域が上手く連携し、ともに育っているように感じている。課題は、学力の向上や、郷土に対する誇りを持つことなどだと思う。

・現在、放課後子ども教室に運営スタッフとして参加している。開設当初はスタッフも多かったが、高齢化などで減っている。特に男性が少ない。男性がもつとすれば、違った交流もできると思う。男性スタッフの確保について協力をお願いする。

市長から



市長と語るまちづくり座談会では、多くの参加をいただきありがとうございます。ありがとうございました。

従来の市政懇談会から形を変えて、各地域でまちづくり活動に取り組んでおられる市民の皆様と、身近な問題について意見交換をし、地域の課題や市政への提案など、さまざまなご意見を伺いました。

今回出された貴重なご意見を、今後の市政運営に生かして、皆様との協働のもと、安心・安全な住みよいまちづくりを推進してまいりたいと考えております。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

問い合わせ先 政策企画課 ☎084486011 FAX 0848676199